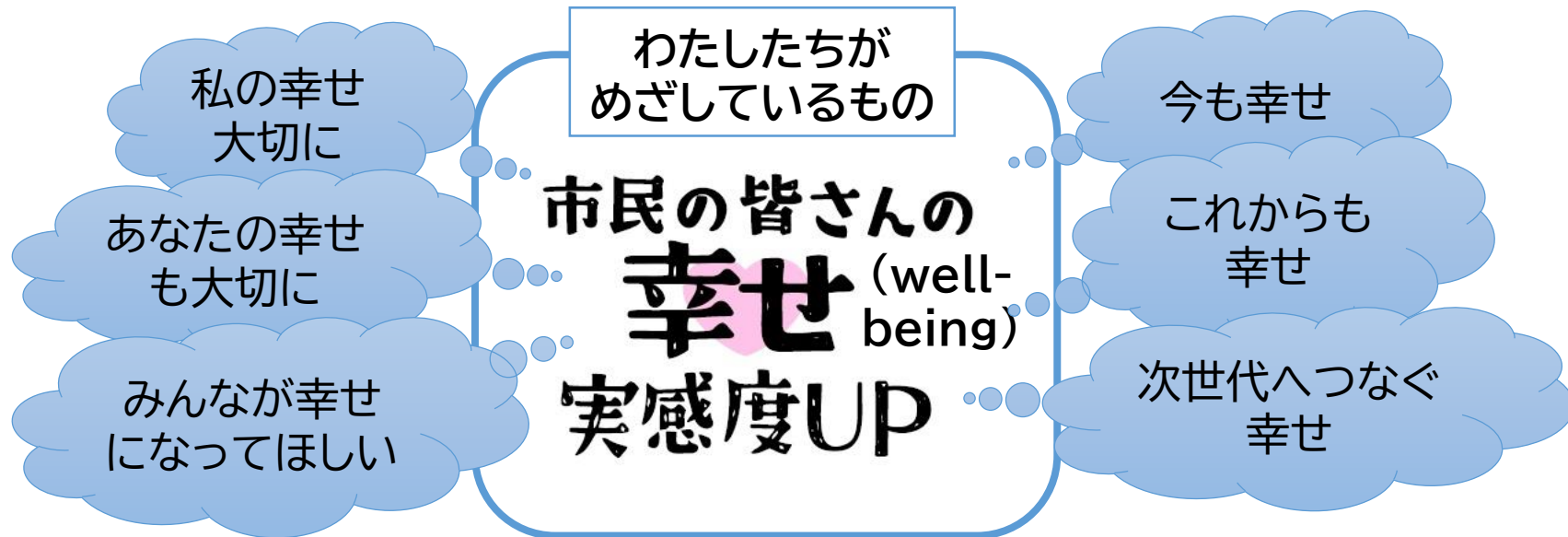


～市民の幸せ実感度について～

- 1 指標の体系化と最上位指標の設定(案)
- 2 「三田市での暮らしと幸せ実感度調査」 結果概要
- 3 第5次総合計画後期計画策定ワークショップ
集めよう！皆の幸せwell-beingワークショップ開催報告



1. 指標の体系化と最上位指標の設定(案)

- ・総合計画の指標は、最上位の指標を設定しなければ、体系化することはできません。
- ・何を最上位の指標とするか、検討した結果
 - まちづくりに関わる主体にとって、市民(住民)の幸せを向上させることが共通の目標
 - そこで、本市が独自に行った「市民の幸せ実感度調査」で得られた指標を設定する

デジタル庁のWell-Being指標の考え方を参考に「市民の幸せ実感度」を総合計画の最上位の指標として設定

成果指標を整理・体系化して、総合計画の目標と整合性を持たせる。
⇒市民にとって理解しやすく、納得感のある指標を設定。
EBPM（根拠に基づく政策立案）の環境を整える。

最上位指標

基本計画の施策(1~25)のごとの指標

【最終目標指標】
市民の幸せ実感度
(@幸せ実感度調査)

【KGI(成果指標)】
・「施策満足度・施策重要度(←市民意識調査)の向上」
など

【KPI(活動指標・取組指標)】
・KGIをめざして取りくむ各事業の活動・取組指標

KPIが改善すればKGIが改善し、KGIが改善すれば市民の幸せ実感度が向上するという仮説を設定し、計画を実行

参考【市民の幸せ実感度】

(現状値)平均6.97 (@R7.3月実施「三田市の暮らしと幸せ実感度調査結果」)

※最終の基準値は、R8年度実施予定の「市民意識調査」の結果に更新します。

2. 「三田市での暮らしと幸せ実感度調査」 結果概要

三田市では
初めての実施！

【調査目的】

市民の「幸せ」の実感度、「幸せ」の構成要素及び第5次三田市総合計画における「取り組み」ごとの満足度及び重要度についての市民の意識を把握することにより、第5次三田市総合計画後期計画の策定及び今後の施策運営の基礎資料を得ることを目的としています。

【調査方法】

調査期間：令和7年3月6日(木)～ 4月7日(月)

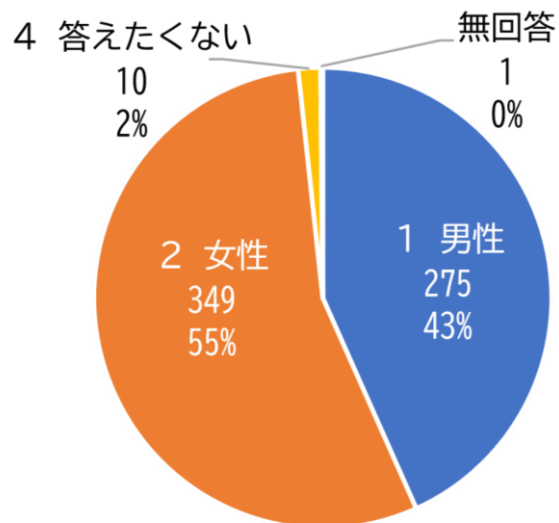
調査対象：市ホームページ等及び市政市民参加名簿掲載者に対して郵送(郵送及びインターネットによる回答)

有効回収数：635件

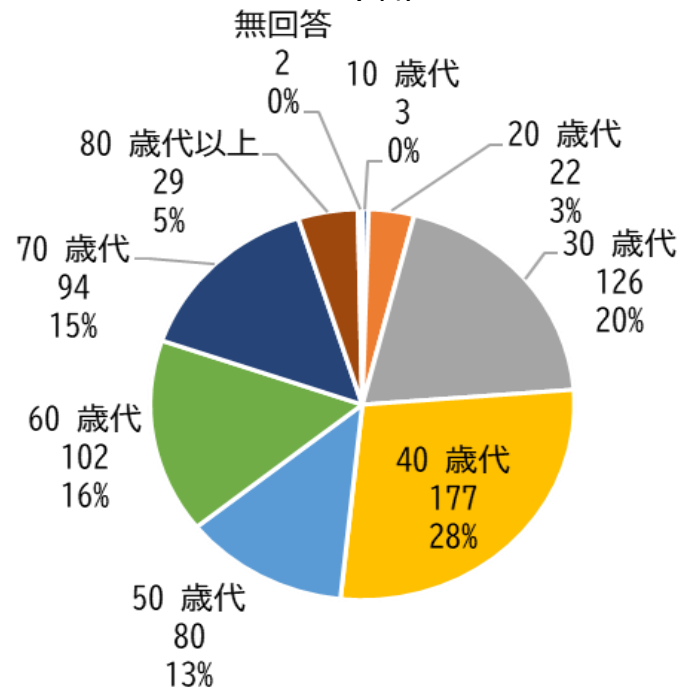


【回答者の属性】

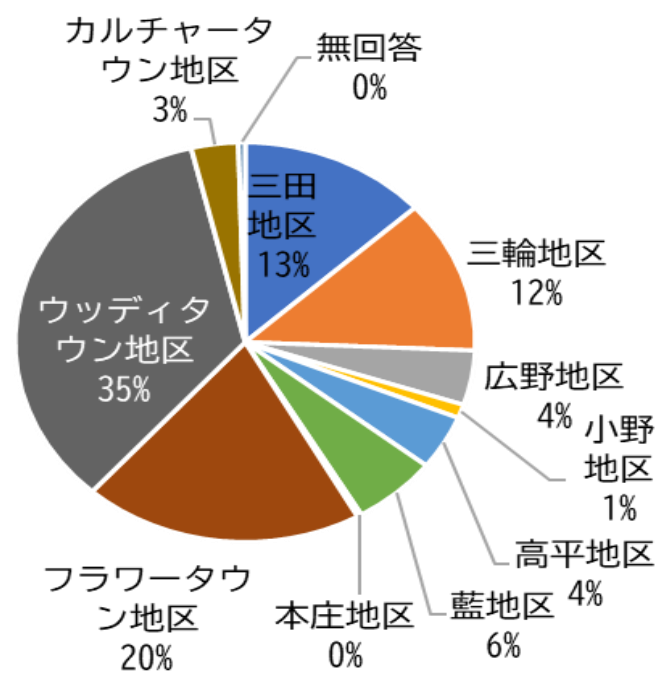
《性別》



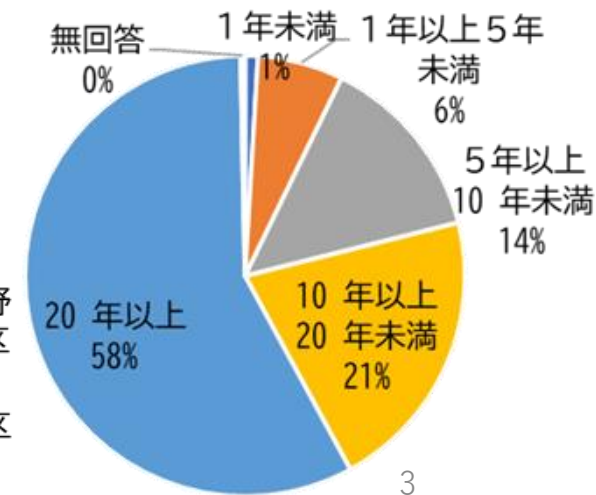
《年齢》



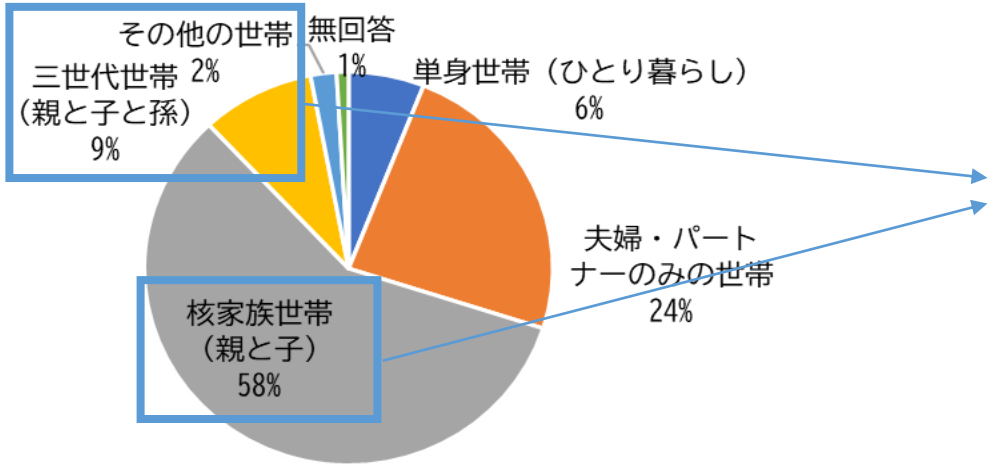
《居住地》



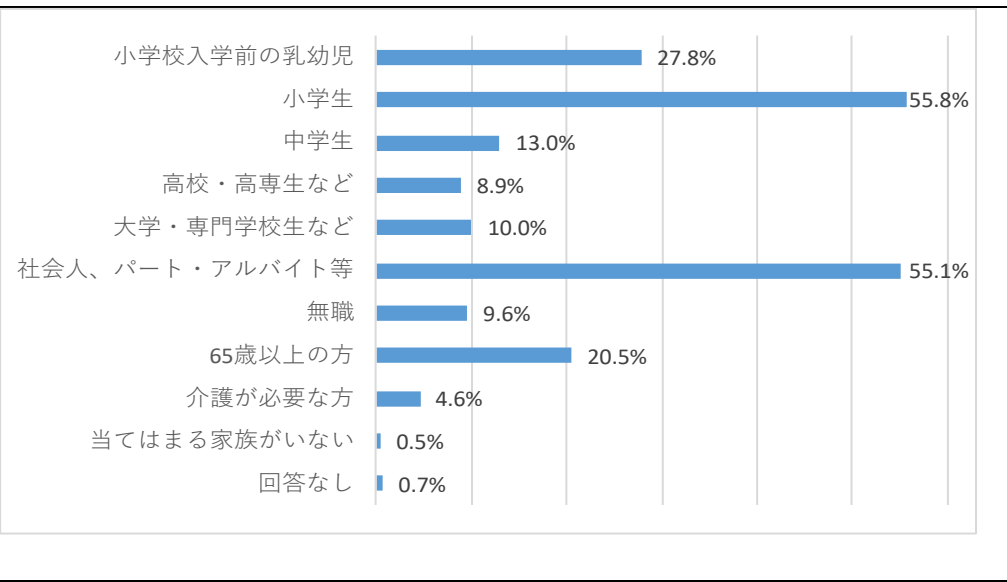
《居住年数》



《世帯構成》



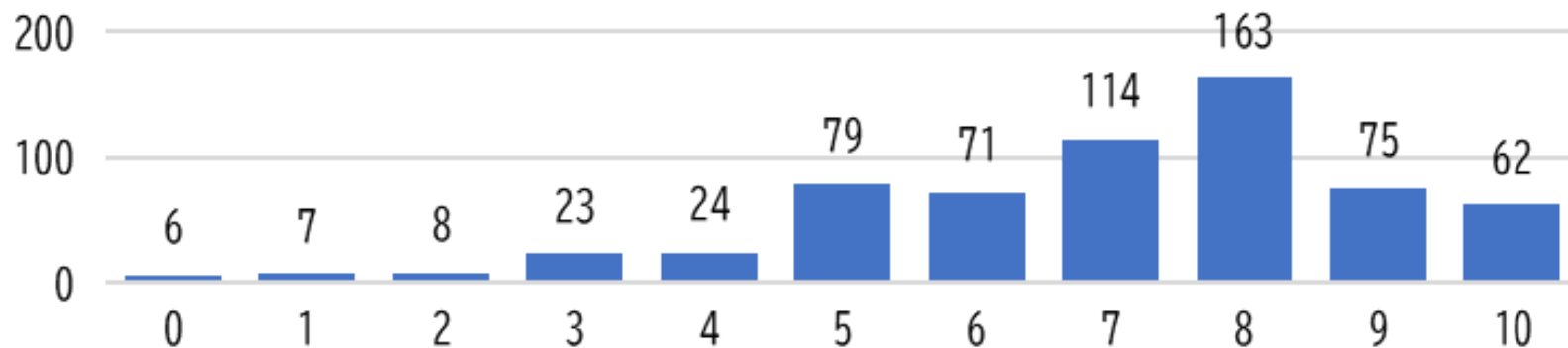
小学校入学前の乳幼児	122
小学生	245
中学生	57
高校・高専生など	39
大学・専門学校生など	44
社会人、パート・アルバイト等	242
無職	42
65歳以上の方	90
介護が必要な方	20
当てはまる家族がない	2
回答なし	3
回答者数	439



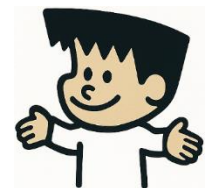
【幸せの実感度】

あなたは現在幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(○は1つ)

《平均:6.97》



幸せの実感度の平均は6.97です
 幸せの実感度「8」が25.8%と最も高く、次に「7」(18.0%)、「5」(12.5%)と続きます。
 8点以上を選んだ人は300人(47%)。
 年齢別、地域別、居住年数別の幸せ実感度に大きな差は見られません。



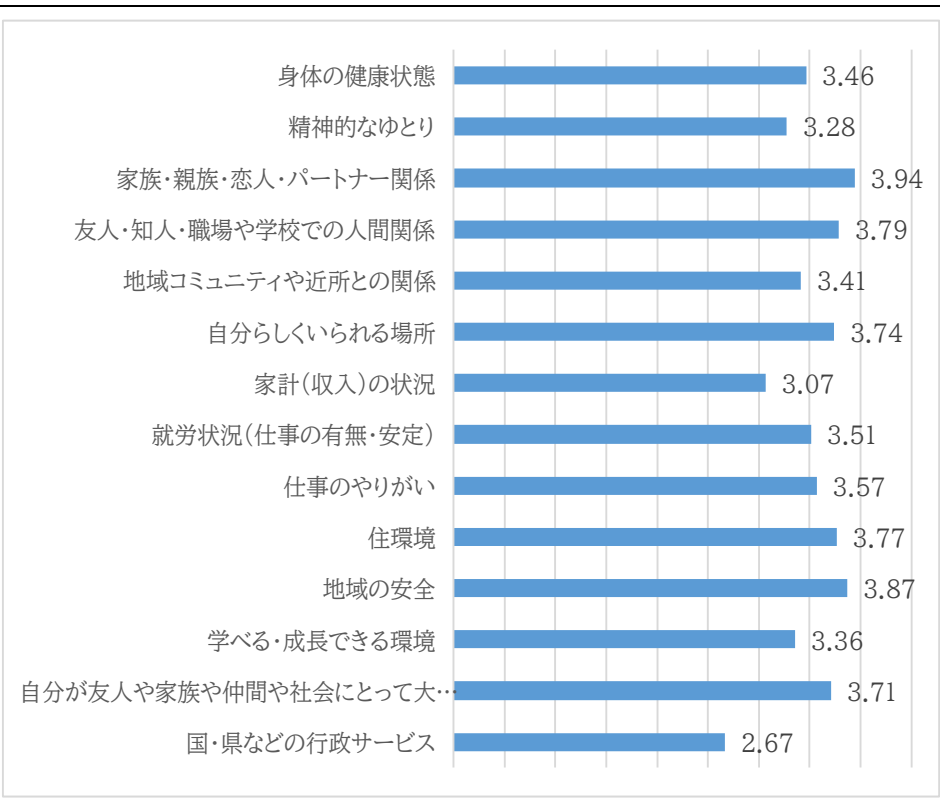
【幸せの構成要素】

現在のあなたの気持ちについてお答えください。次の各項目について、あなたはどの程度満足していますか。

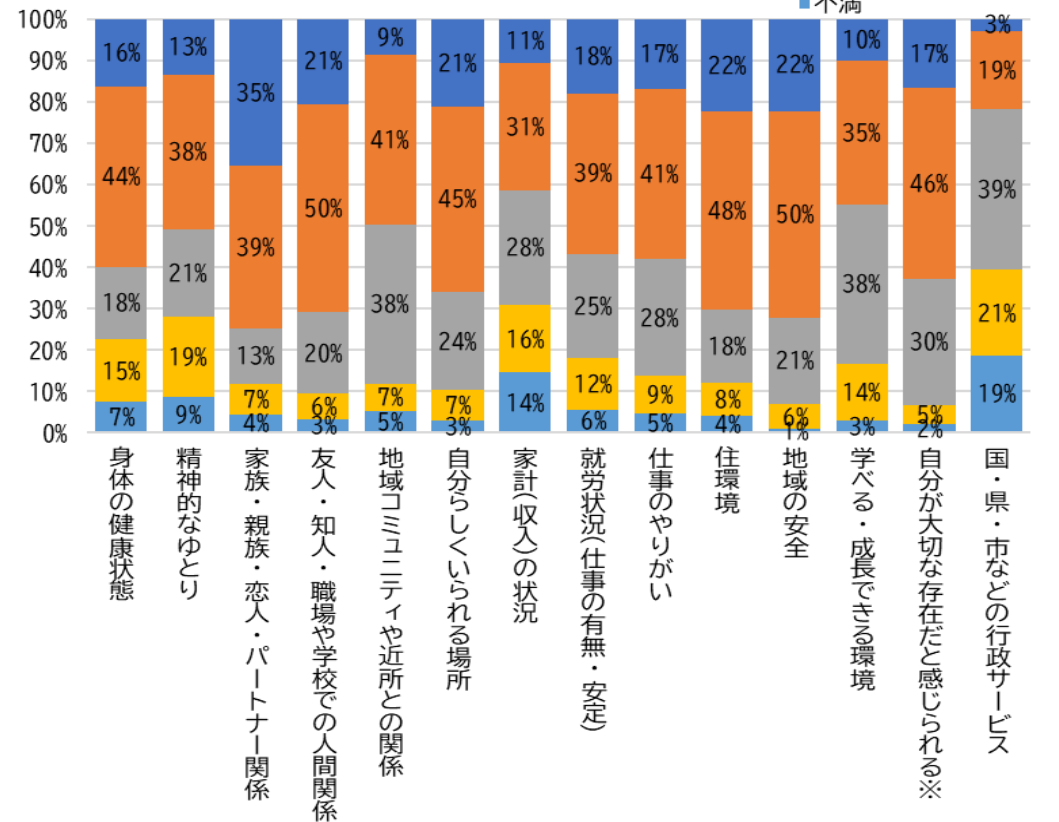
0～5で最も近いものをそれぞれ一つずつ選び、番号に○をつけてください。

(5→満足、4→どちらかといえば満足、3→どちらともいえない、2→どちらかといえば不満、1→不満、0→該当なし)

身体の状態	3.46
精神的なゆとり	3.28
家族・親族・恋人・パートナー関係	3.94
友人・知人・職場や学校での人間関係	3.79
地域コミュニティや近所との関係	3.41
自分らしくいられる場所	3.74
家計(収入)の状況	3.07
就労状況(仕事の有無・安定)	3.51
仕事のやりがい	3.57
住環境	3.77
地域の安全	3.87
学べる・成長できる環境	3.36
自分が友人や家族や仲間や社会にとって大切な存在だと感じられる	3.71
国・県などの行政サービス	2.67



【構成比】



「家族・親族・恋人・パートナー関係」の満足度が最も高く(3.94)、「地域の安全」(3.87)、「友人・知人・職場や学校での人間関係」(3.79)が続きます。

「国・県などの行政サービス」は「不満」が約4割を占め、最も低い結果(2.67)となり、「家計(収入)の状況」も「不満」が3割を占め「満足」が少ないため、次に低い結果(3.07)となりました。

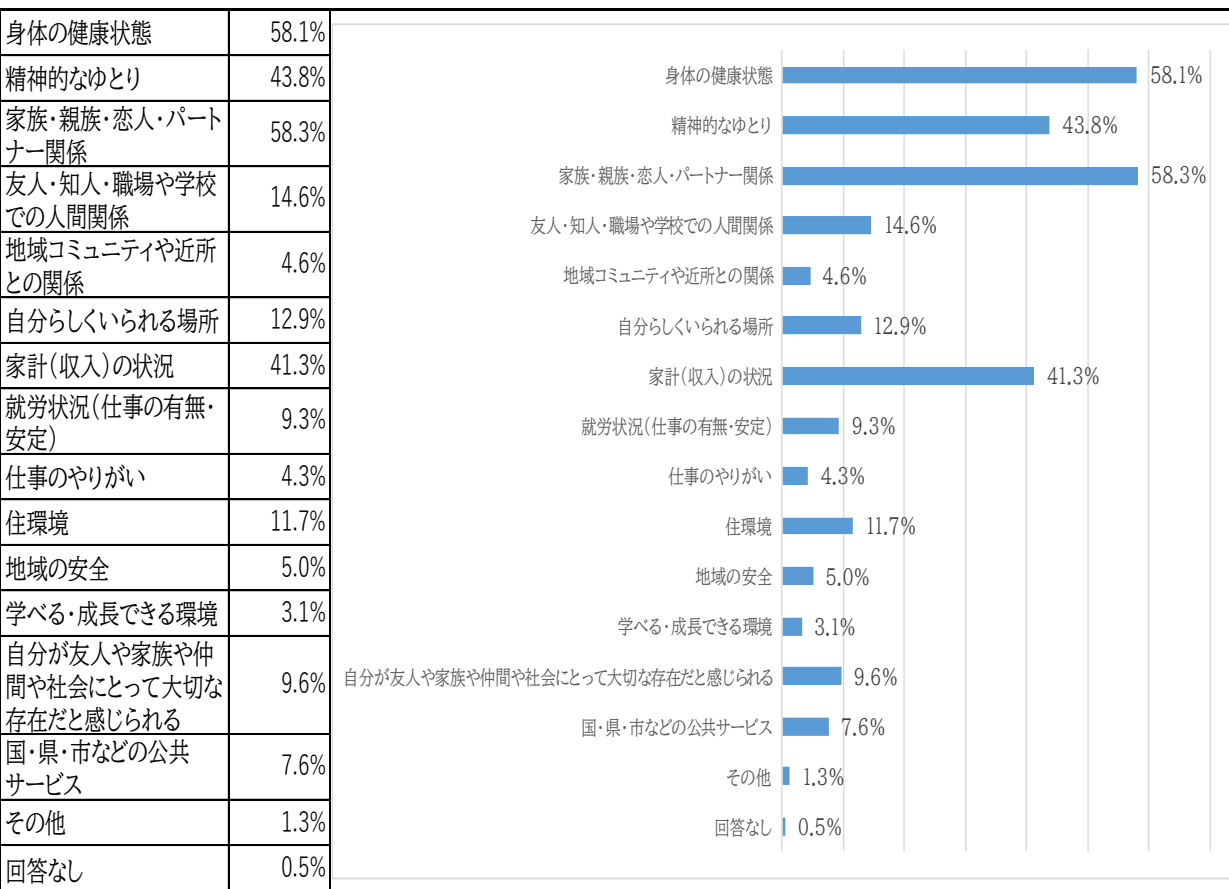
「家族・親族・恋人・パートナー関係」「友人・知人・職場や学校での人間関係」といった個人の人間関係は満足度が高いですが、「地域コミュニティや近所との関係」の満足度は先の2つより大きく下回っています。



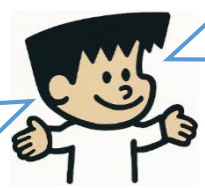
『市民の幸福実感度』と、『幸せの構成要素の各項目の満足度』がどのように関係しているかを明らかにするため、「重回帰分析」(幸せの構成要素が幸福実感度にどのくらい影響しているかをデータを基に数値化しそれぞれの影響力の構成を調べる)を行ったところ、幸福実感度に最も影響力が高かったのは、「精神的なゆとり」満足度(+0.48)、次いで「家族・親族・恋人・パートナー関係」満足度(+0.36)、「住環境」満足度(+0.34)でした。

【幸せの構成要素】

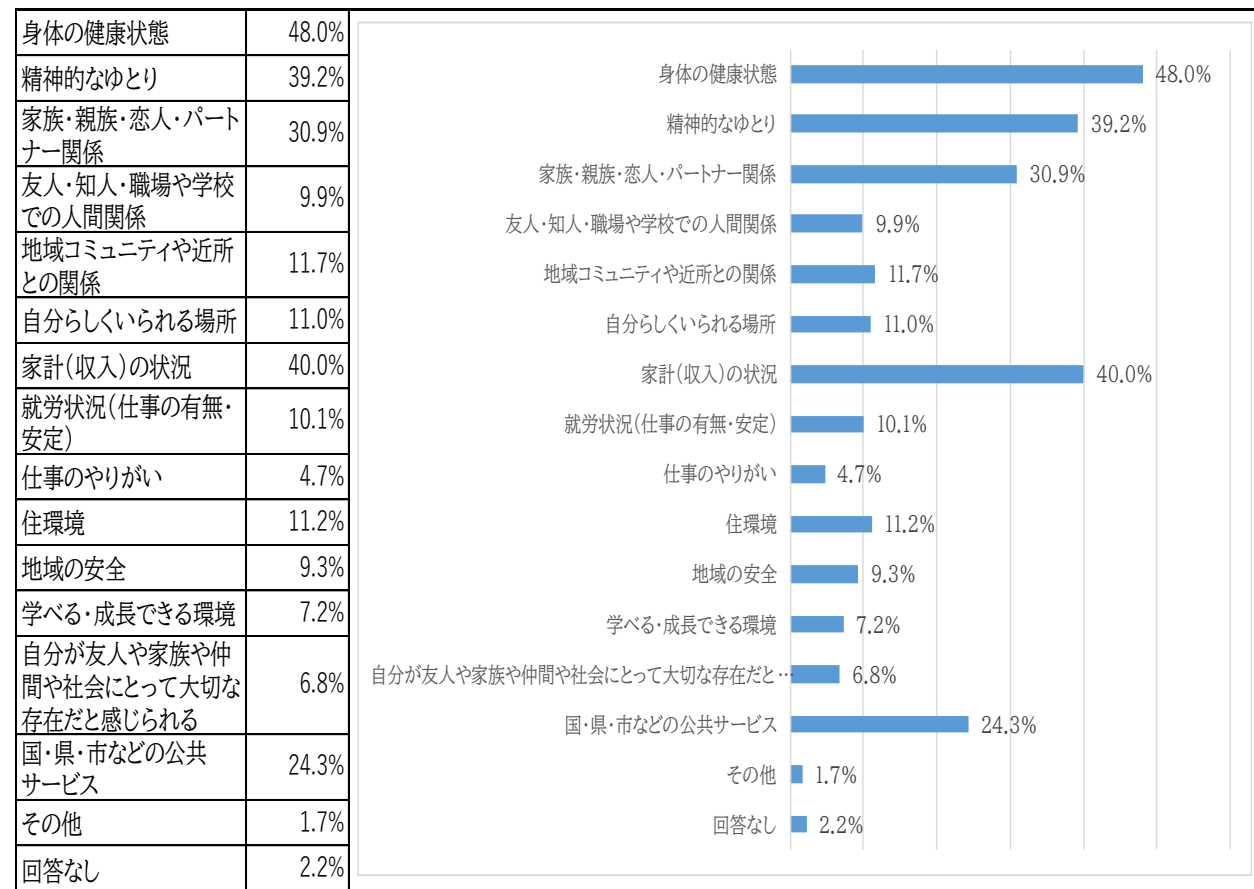
現在のあなたが「幸せ」かどうかを判断する際に重視した項目はなんですか。次の項目から、特に重視したものを3つまで選び番号に○をつけてください。



「幸せ」かどうかを判断する際に重視した項目は「家族・親族・恋人・パートナー関係(58.3%)」、「身体の健康状態(58.1%)」を選んだ方が50%を超え、次に「精神的なゆとり(43.8%)」が続きます。その他及び回答なしを除くと「学べる・成長できる環境」が最も低い結果となりました(3.1%)。

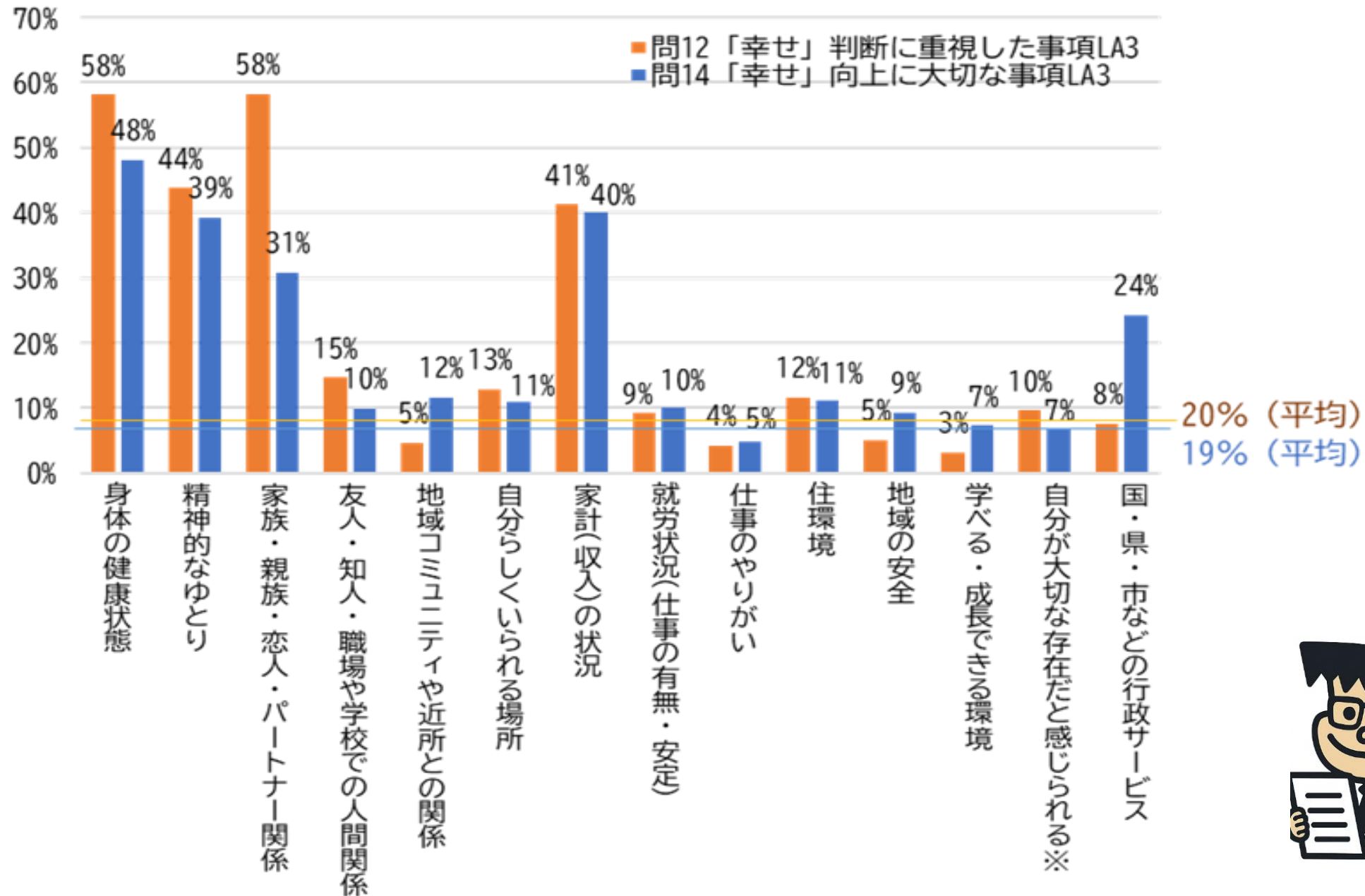


幸せ実感度を向上させるために、次の項目のうちどの項目が大切だと思いますか。特に大切だと思うものを3つまで選び番号に○をつけてください。



「幸せ」を向上させるために大切な項目は、「身体の健康状態(48.0%)」が最も高く、「家計(収入)の状況(40.0%)」、「精神的なゆとり(39.2%)」が続きます。その他及び回答なしを除くと「仕事のやりがい(4.7%)」が最も低い結果となりました。

「幸せ」かどうかを判断する際に重視した項目と、「幸せ」実感度を向上させるために大切な項目の比較



市民を幸せにするためにどんなことをするか

あなたが市長だとしたら、市民を幸せにするためにどんなことをしますか。1つ書いてください。

三田市における地域活性化や子育て支援、高齢者福祉、医療環境の整備などの意見が見られます。

【地域コミュニティの活性化】

- 若者が働きやすく住みやすいまちづくり。
- 家賃補助の拡大で若者の転入者や新婚世帯を呼び込む。
- 地産オーガニック給食の導入の提案。
- まちおこしの宣伝。 など

【子育て支援の強化:子育て世代への支援を強化】

- 子ども医療費の無償化や給食費の無償化。
- 学童保育の充実や放課後の居場所作り。
- 不妊治療の補助や子ども手当の拡充。
- 子育て世代の安心できる環境作り。 など

【医療環境の整備:地域医療の充実と市民の健康を守る】

- 医療機関の充実
- 市民病院の存続。市民病院の早期開院や医療サービスの改善。
- 高齢者や子どもが安心して利用できる医療体制の整備。
- 休日医療体制の充実や夜間小児救急の受け入れ体制の充実。
- 医療従事者や介護職の給与改善や安定確保。 など

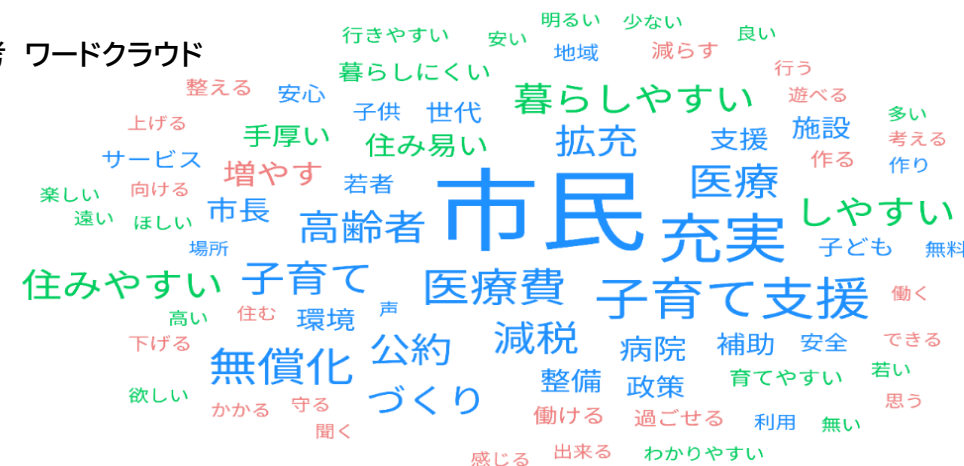
【交通利便性の向上:市内外の交通利便性を向上させる】

- 市内どこでも行けるバス路線の整備。
- フラワータウンセンターからの直行バスの運行。
- 交通手段の確保(高齢者や子育て世代)。
- 交通の便が悪い地域への配慮。 など

【地域の魅力向上と広報活動:三田市の魅力を外部にアピール】

- 市民一人ひとりが三田市の魅力を実感できるようなPR活動。
- 地域の観光スポットや遊び場の整備。
- 市民の意見を反映した施策の実施が重要視。
- 地域イベントの開催やボランティア活動の推進。 など

参考 ワードクラウド



3. 第5次総合計画後期計画策定ワークショップ

集めよう! 皆の幸せ well-beingワークショップ報告書

- ワークショップ概要 -

〈日 時〉R7.11.29 (土) 10:00~12:00
 〈場 所〉三田市役所本庁舎3階
 〈対象者〉三田市在住・在勤・在学の若者

三田市では、令和7年度から総合計画後期基本計画の策定を進めており『市民の幸せの向上』を最上位目標として掲げるため、ワークショップやアンケートを通して”幸せについての深掘り”を行いました。

ワークショップでは三田市の未来を担う若者を対象とし、16名の方が自身の未来や三田市の未来について考えていただきました。

- プログラム -

◆ワークショップ10:00~12:00

- (1) オリエンテーション：事務局からの説明
- (2) 個人ワーク：グループワークに向けての個人ワーク
- (3) グループワーク：4人×4班で議論
- (4) グループ発表：各班発表
- (5) まとめ：事務局からのまとめ

▶ 当日の様子



【私のwell-beingシート】お名前 ()

▶ ワークシート

【参加個人ワーク】
Q1：あなたの幸せの点数は？ ()点 ※10点満点
(理由×4)

【個人ワーク】+【グループ共有】 Q3：『幸せ』かどうかを判断する時に、特に重視した3つの項目
(理由×6) (理由×6) (理由×6)

【参加個人ワーク】
Q2：現在のあなたの気持ちに近い幸福観に○をつけてください。(○は1つ)

	あつた	あつた	あつた	あつた	あつた
1 身体・健康状態	5	4	3	2	1
2 精神的なゆとり	5	4	3	2	1
3 家族・親族・恋人・パートナー関係	5	4	3	2	1
4 友人・知人・職場や学校での人間関係	5	4	3	2	1
5 地域コミュニティや近所との関係	5	4	3	2	1
6 自分についていられる場所 (場所の雰囲気、どれくらい自分らしくいられるか)	5	4	3	2	1
7 家計(収入)の状況	5	4	3	2	1
8 就業状況(仕事の有無・安定)	5	4	3	2	1
9 仕事のやりがい	5	4	3	2	1
10 住環境	5	4	3	2	1
11 地域が安全	5	4	3	2	1
12 学べる・成長できる環境	5	4	3	2	1
13 自分が法人や家族や仲間や社会にとって大切な存在だと感じられる	5	4	3	2	1
14 働き-居るなどの行政サービス	5	4	3	2	1

【個人ワーク】+【グループ共有】 Q4：『幸せの点数』を向上させるために、将来、後年代で大切なと考える3つの項目 (理由も含めて考えてみてね)

【20歳代~30歳代】 (理由×6)

【40歳代~50歳代】 (理由×6)

【60歳代~70歳代】 (理由×6)

【アンケート結果を見て気づいたこと】(×を欄)

【より多くの人がwell-beingを向上させるために、どのような施策が必要?何をやる?】(×を欄)



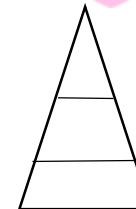
- 今日のゴール -

“『**幸せの構成要素**』を発見すること”

本日のワークショップにおけるゴールを共有し、参加者の方が同じ目的を持って取り組めるよう概要をお伝えしました。
また、後期基本計画で掲げる予定の最上位目標が『市民の皆さまの幸福度向上』であり、そのために本ワークショップでは三田市の未来を担う若者の幸福度について掘り下げることで、『**幸せの構成要素**』を考えます。

〈後期基本計画の目標〉

 **市民の幸せ向上**



25施策の取り組み

- 個人ワーク -

まずは、『自分の幸せ』について考えてもらうために個人ワークを行いました。
ここでは、現在の自分に焦点を当てて考えることで、自分自身の振り返りにもなり、次のワークで考える「これからの幸せ」も深めやすくなりました。

Q1：あなたの幸せの点数は？（10点満点で判断）

Q2：現在のあなたの気持ちに近い満足度の選択肢に○をつけてください。



次のグループワークでは「これからの幸せ」について考えていきます！

【事前個人ワーク】

Q2：現在のあなたの気持ちに近い選択肢に○をつけてください。（○は1つ）

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	該当しない
1 身体の状態	5	4	3	2	1	0
2 精神的なゆとり	5	4	3	2	1	0
3 家族・親族・恋人・パートナー関係	5	4	3	2	1	0
4 友人・知人・職場や学校での人間関係	5	4	3	2	1	0
5 地域コミュニティや近所との関係	5	4	3	2	1	0
6 自分らしくいられる場所（場所の有無、どれくらい自分らしくいられるか）	5	4	3	2	1	0
7 家計（収入）の状況	5	4	3	2	1	0
8 就労状況（仕事の有無・安定）	5	4	3	2	1	0
9 仕事のやりがい	5	4	3	2	1	0
10 住環境	5	4	3	2	1	0
11 地域の安全	5	4	3	2	1	0
12 学べる・成長できる環境	5	4	3	2	1	0
13 自分が友人や家族や仲間や社会にとって大切な存在だと感じられる	5	4	3	2	1	0
14 国・県・市などの行政サービス	5	4	3	2	1	0

次のグループワークでは、「現在の幸せの構成要素」を深掘りした後、「これからの幸せ」についてグループ内で共有しました。
 具体的には、Q3でまず今の自分の幸せの点数をつけるにあたって判断する時に重視した3つの項目を選択し、今の自分の幸せが何で構成されているのかを分析します。そして次にQ4で3つの年代に分け、将来各年代で大切だと考える幸せの構成要素について考えることで、自分が何を大切にしているかを考えてもらいました。

【設問】 Q3：『幸せ』かどうかを判断する時に特に重視した3つの項目

Q4：『幸せの点数』を向上させるために将来各年代で大切だと考える3つの項目（①20歳代～30歳代 ②40歳代～50歳代 ③60歳代～70歳代）

Q3：現在【判断する時に重視した項目】



Q1でつけた幸せの点数を判断する時に重視した項目は、左記3つへの票が一番多い結果になりました。

なかでも『4：友人・知人・職場や学校での人間関係』は特に票が多く、普段の生活の中で人との繋がりを大切に考えている人が多いことが分かります。

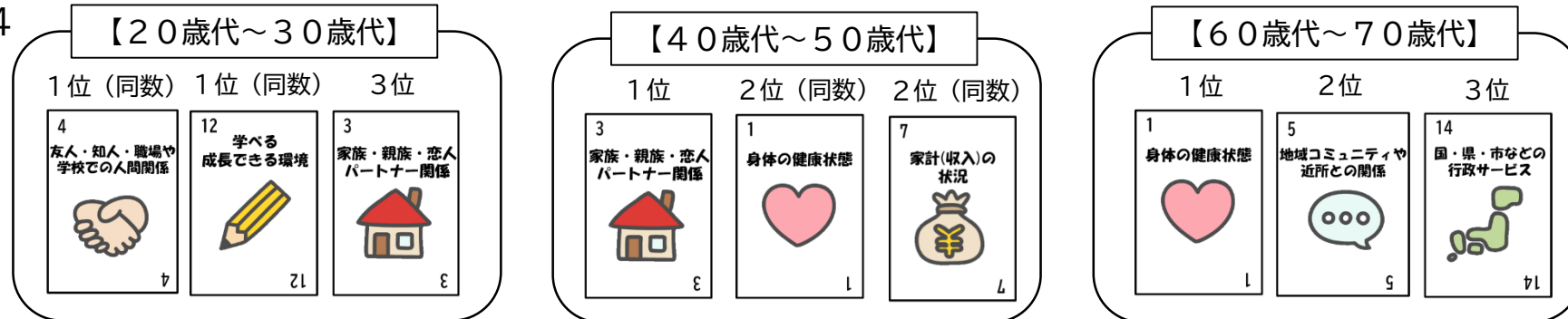
次に多いのが、『6：自分らしくいられる場所』となっており、まずは自分を大切にすることで次の幸せに繋がっていくと考えている人もいました。

最後は、『2：精神的なゆとり』であり、ゆとりがなければ様々なことを楽しめないという意見がありました。



参加者が各年代で選んだ選択肢の数を集計した結果、年代が変化しても共通している選択肢がいくつかあり、大切にしたい項目は変化をしながらも軸が変わらないことが分かります。

Q4



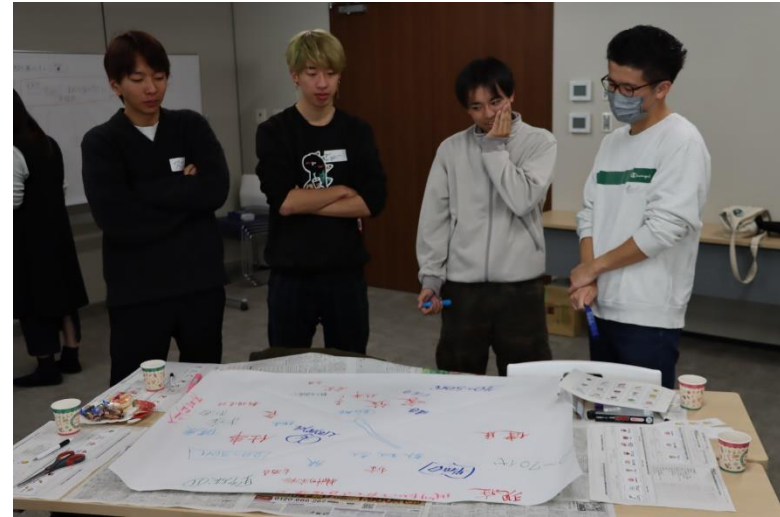
- グループワーク -

Q1～Q4を通して、現在の幸せと未来の幸せについて考え、グループでの意見交換も行いました。それらを含めグループで考える『私たちの幸せな“未来”がどんな未来か』、『その幸せの“要素”がなにか』について、各班で一枚の模造紙にまとめました。

- 1班 -



- 2班 -



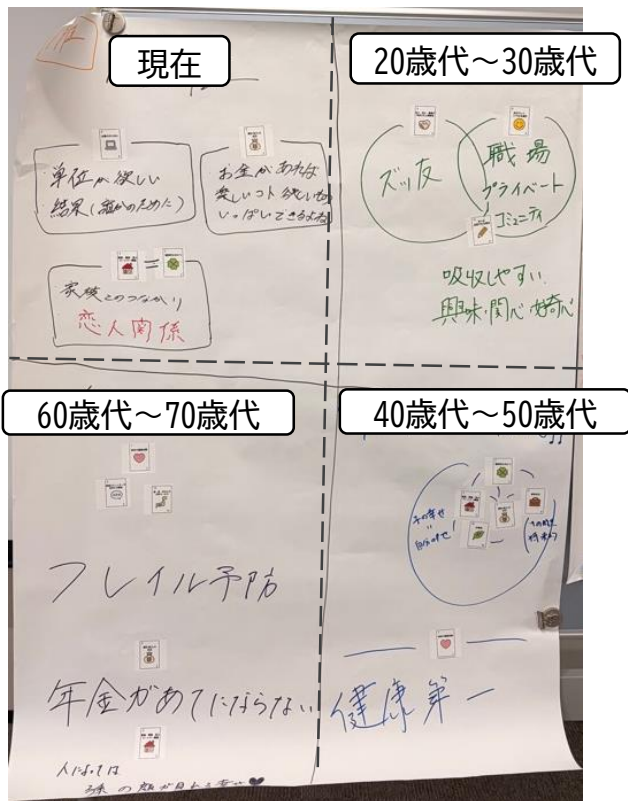
- 3班 -



- 4班 -



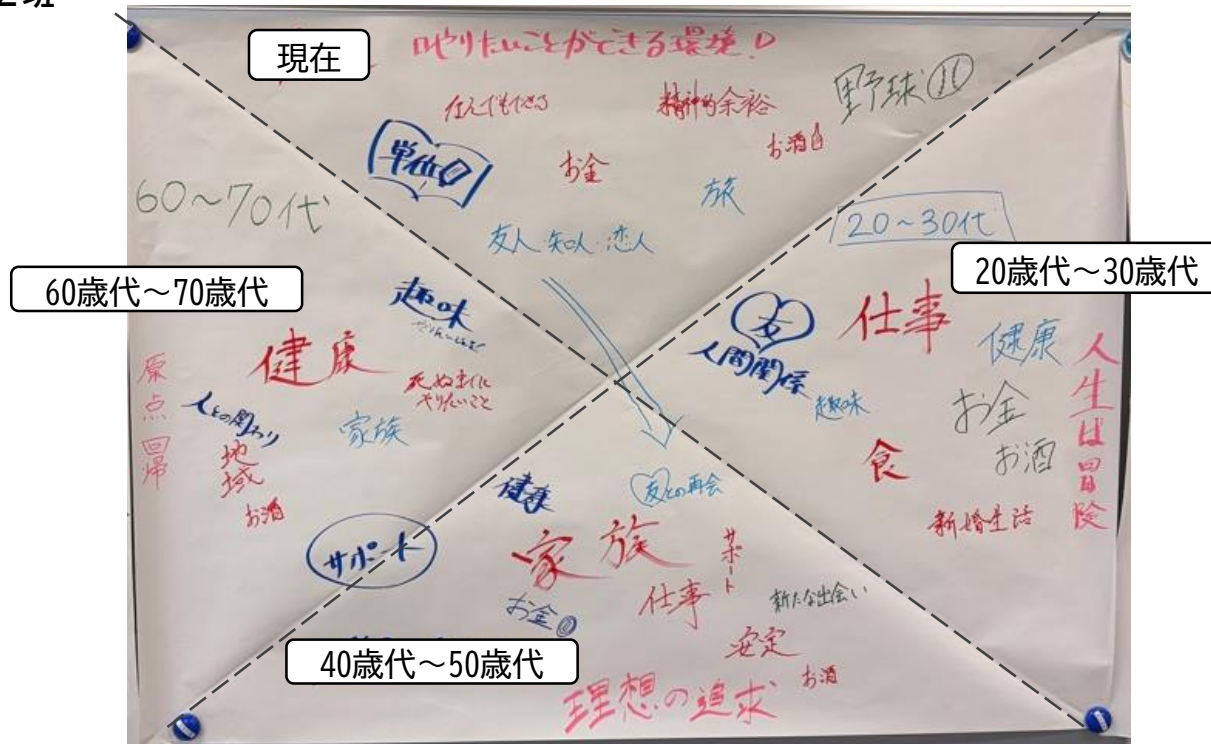
- 1班 -



◆ 1班の考える幸せの構成要素

- (1) 現在…叶えたいことができる環境
 - ・単位が欲しい、お金があれば楽しいことができる、家族とのつながり
- (2) 20歳代~30歳代
 - ・ズッ友、職場、プライベート、コミュニティ、興味、関心、好奇心
- (3) 40歳代~50歳代
 - ・子の幸せ=自分の幸せ、健康第一
- (4) 60歳代~70歳代
 - ・フレイル予防、年金があてにならない、孫の顔が見れる幸せ (人によっては)

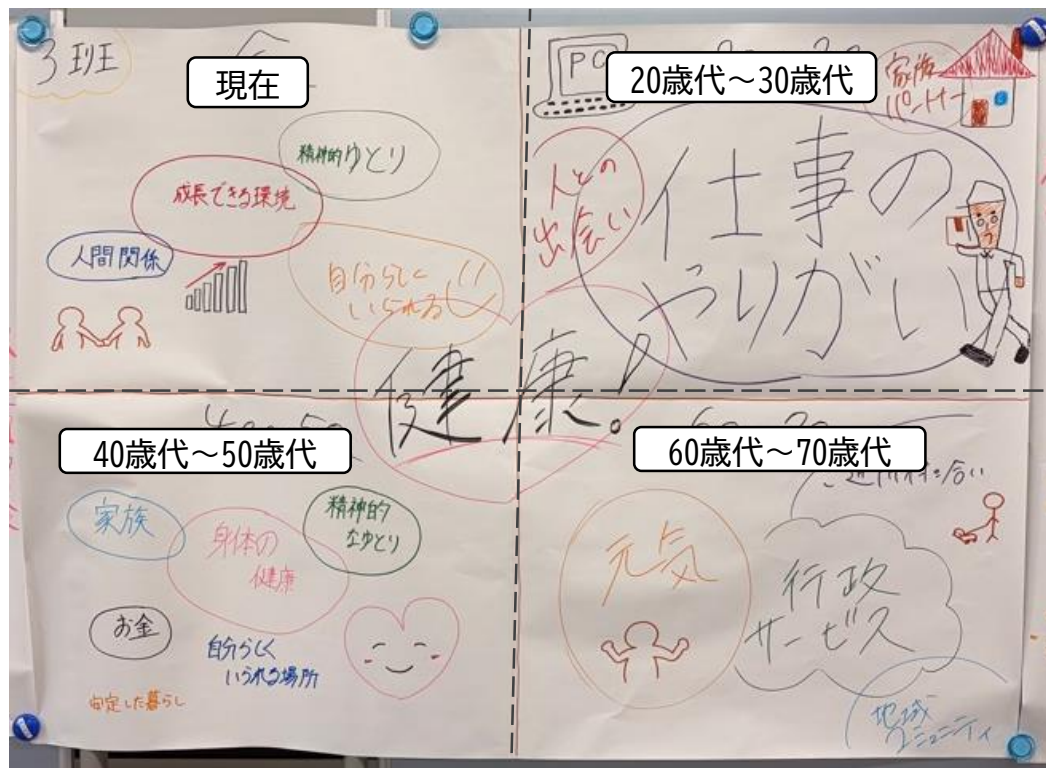
- 2班 -



◆ 2班の考える幸せの構成要素

- (1) 現在
 - ・精神的余裕、単位、旅、お酒、野球、なんでもできる
- (2) 20歳代~30歳代
 - ・仕事、健康、食、趣味、お金、お酒、新婚生活
- (3) 40歳代~50歳代
 - ・家族、健康、友との再会、安定、新たな出会い、お金
- (4) 60歳代~70歳代
 - ・健康、趣味、人との関わり、家族、地域、お酒、死ぬまでにやりたいこと

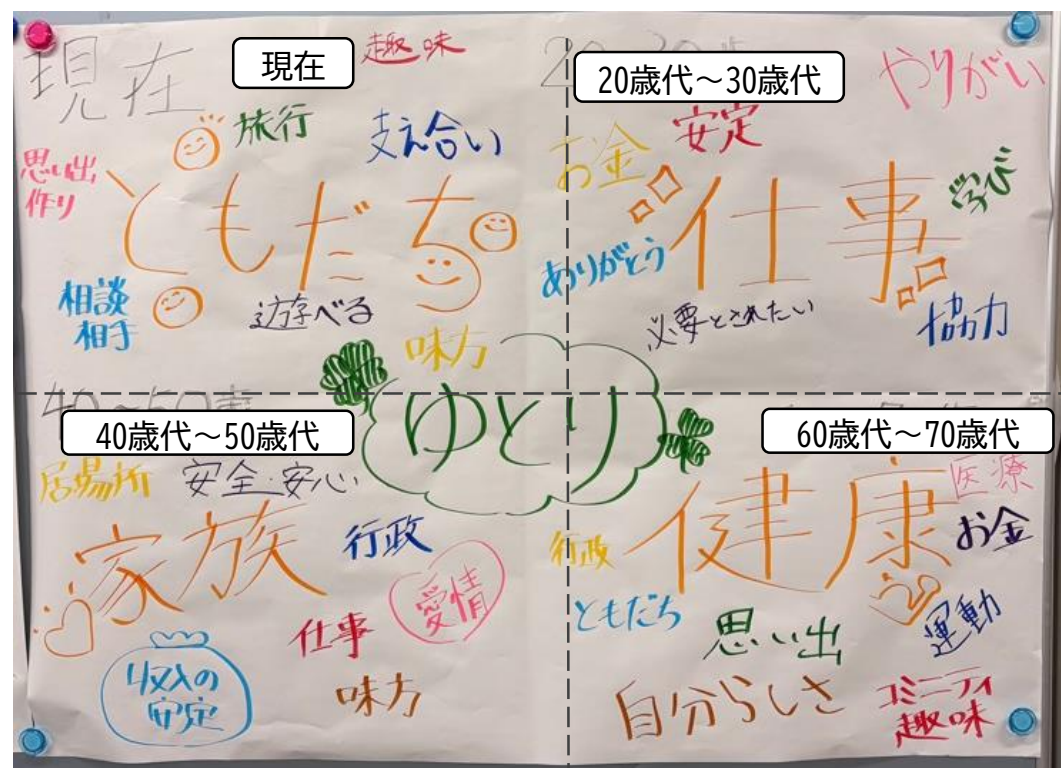
- 3班 -



◆3班の考える幸せの構成要素 前世代共通：健康！

- (1) 現在
 - ・自分らしくいれる、成長できる環境、精神的ゆとり、人間関係
- (2) 20歳代~30歳代
 - ・仕事のやりがい、人との出会い、家族、パートナー
- (3) 40歳代~50歳代
 - ・身体の健康、精神的なゆとり、家族、お金、自分らしくいれる場所
安定した暮らし
- (4) 60歳代~70歳代
 - ・元気、行政サービス、ご近所付き合い、地域コミュニティ

- 4班 -



◆4班の考える幸せの構成要素 前世代共通：ゆとり・味方

- (1) 現在
 - ・友達、思い出作り、相談相手、旅行、趣味、支え合い、遊べる
- (2) 20歳代~30歳代…人生は冒険
 - ・仕事、お金、安定、ありがとう、必要とされたい、やりがい、学び、協力
- (3) 40歳代~50歳代
 - ・家族、居場所、安全安心、収入の安定、行政、仕事、味方、愛情
- (4) 60歳代~70歳代…原点回帰
 - ・健康、自分らしさ、思い出、友達、行政、医療、お金、運動、コミュニティ、趣味